

◆ <報告>

小・中学生向け「夏休み野外学習会」を開催しました。

沖縄総合事務局土地改良総合事務所は、平成27年7月30日(木)、31日(金)の両日に、沖縄本島南部地区の糸満市、八重瀬町の小・中学生を対象に夏休み野外学習会を開催しました。

野外学習会では、沖縄本島南部地区の農業用水の主水源である米須地下ダム、慶座地下ダム及び仲座ファームポンド等のかんがい施設見学を行いました。参加した子供達は、かんがい用水の必要性や地下ダムの構造、地上ダムと地下ダムの違いについて学ぶとともに、「地下ダムの貯水量は学校のプール何杯分なのか」といった3択クイズに積極的に回答していました。また、慶座地下ダムでは、水位水質観測施設に生息する日本最大のテナガエビであるコンシンテナガエビを見つけて歓声を上げていました。

今回の野外学習会には、総勢81名(児童生徒:48名、保護者:31名、一般:2名)の参加があり、参加した児童からは「学校で今から勉強するのでこの学習会を活かしたい。」、保護者からは「地下ダムを初めて知ることが出来た。」などの感想が寄せられました。

また、以前に保護者として参加した中学校社会科教諭が、生徒への指導に活かそうとして呼びかけた教諭グループを対象に、今後見学会を行う予定です。

